

6月 ひばりぐみだよ

令和5年6月25日(月)

津田このみ学園

紫、水色、ピンクと、アジサイが色とりどりの花を咲かせています。お家から持って来てくれたアジサイや畑や園庭で見つけたアジサイを保育室に飾ろうと子どもたち自ら花瓶に水を入れて飾っています。

🌸🌀🌸 ~ツバメが誕生してから巣立つまで~ 🌀🌸🌸🌸

5月の中旬からはじまったツバメの観察。テラスには“ひばりぐみ研究所”ができました。ツバメが5羽のヒナにエサをあげに戻ってくるたびに「あ、帰ってきた!」「今度は何捕まえてきたんだ?」とカメラや虫眼鏡を持って巣に向かう子ども達。「今日はトンボとハチを食べていました」と集まりで気づいたことや調べたことを発表する日々が続きました。そんな中、卵の殻を発見(5月26日)。“大体20日後に巣立つ”と図鑑に書いてあったので20日後の6月15日を心待ちにしていました。ある日、巣を見に行くと「先生!大変や!ヒナが4羽しかおらへん!」と大騒ぎ!よく見ると、巣の下に小さなヒナを発見。子どもたちの表情が変わりました。「動かへんな」「死んでいるのかな」「かわいそう」5羽の兄弟が4羽になってしまったのです。

「このヒナさん、どうしようか…」議論がはじまりました。

Aさん:「なんで死んでしまったのか、体の中を研究したらどう?」

Bさん:「治療したら?」

Cさん:「死んでしまって寂しいけど、ツバメさんの写真をお部屋に飾ろうよ(遺影を想像したようです)」

Dさん:「お墓にうめてあげたらどうかな?」



子どもたちなりに色々考えて、お墓を作ってあげることになりました。約1か月もの間、小さなヒナが大きくなっていく姿や親鳥が一生懸命エサを運び育てる姿を毎日観察していたので、愛着が湧いていた子ども達。突然のお別れでしたが、生命の尊さに触れ、どんなに小さなものでも命があること、命あるものを大切に扱うことを知りました。その後、ツバメのヒナは、無事に巣立ちました。また来年会えるといいな。

ツバメリレーで遊ぼう!

6月はツバメ一色のひばりぐみ。ツバメリレーで遊んでいます。ツバメリレーとは?

カラーボールをエサに見立て、巣の中にいるヒナ役の子ども達にエサを渡していき、早くエサがなくなったチームが勝ちというゲーム。親鳥役の子ども達は、汗をかきながらへろへろになって繰り返しエサを運んでいました。「お母さんて大変やな」と子ども達。「みんなのお母さんも毎日ご飯作ったり、洗濯したり、みんなのために一生懸命なんだね」という話になると「お母さんてすごいな」とAさん。子ども達のために、いつも本当にお疲れ様です。

